

| |
|--|
| 事業又は施策名【担当課】 |
| ⑩地区社会福祉協議会の推進【福祉課】 |
| 外部評価実施者 意見(コメント) |
| <p>CSW・民生委員・自治会関係者・行政・CSWのサポートを必要であろうとする市民など、日ごろからのネットワークづくりが必須であると思われる。CSW・市民・行政の地道な連携・信頼構築が姿勢成果にとって重要と思われる。いずれは、施策成果は市民参加者数ではなく、事例などを通し、部会活動を通じて主体的に地域生活課題を把握し、解決していることを検証する必要があるのではないかと思う。</p> <p>・地区社協の部会に「認知症予防」「閉じこもり・引きこもり防止」「子育て不安軽減」があります。一方、まちづくり協働事業の中にも同様のテーマで活動されているグループや団体があります。主体的に活動されている人は限られているのに、それぞれがバラバラにやっていたのでは勿体ないです。双方の活動が有機的に結びつくよう、連携・協働を進めてください。</p> <p>・問題を抱えていても相談に出てもらえない人とどう繋がっていくか、難しい課題です。小学校区での集まりに親しさを感じる人もあれば、逆に近所だから敬遠する人もあるでしょう。個人情報の問題があり一歩踏み込んだ対応が難しい時世ですが、CSWを核にして民生委員や自治会役員などが、それぞれが持っている情報を共有して対応策を講じて欲しいです。必要ならば専門機関に繋ぐ、前述したまちづくり事業のグループや団体に繋ぐといったことが必要だと考えます。</p> <p>・4小学校区では既に地区社協が設置され、残り2地区では準備中とのこと。共通の課題もあれば、地域によって異なる課題もあると思いますが、まずはお互いの活動を知ることが肝要だと思います。地区社協毎に月1で運営委員会を実施されていますが、年に1～2回拡大運営委員会を6地区合同で行ってはどうでしょう。交流に加えて、先進的な取り組み事例の報告(長久手以外の地域の話も可)などがあると活動のヒントが得られるのではないかと思います。又、他地域の運営委員会にオブザーバーとして参加することも学ぶことが多いと考えます。</p> <p>社会福祉協議会の取組は、多岐にわたりずいぶん多いですね。 時間、労力のかかる大変なご苦勞もあるのではないかと推察いたします。 CSW職員の皆様、ご苦勞さまです。</p> <p>地域づくりの担い手として、CSWの存在は大事になってくる中で、現状、認知度はまだまだだと感じました。今後もっとPRする必要があると考えます。 また、CSWの労働環境が地域に影響が出る可能性があると思います。そこで、CSWの働きやすい環境づくりをしてほしいです。 子供部会のイベントを通して、地域の問題を発見し、CSWが解決までをアプローチしていく流れは良い方法だなと感じました。</p> |